

11. 2024年度日本数学会賞春季賞、 出版賞の授賞について

【春季賞】

日本数学会賞受賞候補者選考委員会からの選考結果報告に基づき、春季賞は大阪大学大学院理学研究科の藤田健人氏に授賞されました。授賞理由は、

‘Fano 多様体の K 安定性の研究’
(英訳: Study on the K-stability of
Fano varieties)

に関する業績です。また、3月18日に大阪公立大学において授賞式並びに同氏による‘3次元ファノ多様体のカラビの問題について’と題する受賞記念総合講演が行われました。

【出版賞】

出版賞選考委員会からの受賞候補者選考結果報告に基づき、出版賞はつぎの方々に授賞されました。授賞式は3月18日に大阪公立大学において行われました。

細木 周治氏

授賞理由: 細木氏は長年にわたって裳華房の数学書の企画・編集に携わり、「数学選書」、「数学シリーズ」を筆頭に多くのロングセラー教科書を手掛けるとともに、工学系の数学教科書の刊行にも尽力した。氏が世に送り出した数学書の数々は、出版から時間の経った現在でもその多くが名著として読み継がれ、大学の専門課程や教養課程での数学教育を支え続けている。こうした細木氏の功績は数学研究の進展と、数学教育の基盤の確立に大きく寄与するものであり、日本数学会出版賞にふさわしい。

『数の悪魔—算数・数学が楽しくなる12夜』

授賞理由: 本書では「数の悪魔」が読者を数の不思議な世界へと誘い、算数・数学嫌いの子供や大人でさえもその世界に引き込まれていく。初版から実に59刷を数えていることから、広く一般読者に受け入れられていることがうかがえる。

年少者への配慮を十分に行いつつも本格的な数学の内容を扱っていることが特徴の一つである。

例えば、0と1から始まる数の構成、有理数と無理数、数列の極限、数学における証明とは何か、多面体のオイラーの法則など、数学の入門段階での要点の数々を提示し、それらについて読者が楽しく理解を深められるように構成されている。

本書の数学の普及への貢献は顕著であり、日本数学会出版賞にふさわしい。